



らぶっく La・BOOK

10月号

No.52

ご来館ありがとうございました

図書館フェスタ開催!

9月10・11日に開催した「安曇野市図書館フェスタ」は、今年で8回目を迎え、両日で3,898人の方にご来館をいただきました。10日、開館時から多くの方に参列していただき、開会式のくす玉割りでスタート。松本山雅連携事業として、スポーツの秋にちなみ、元松本山雅の選手と一緒にタオルやゴムボールを使って気軽にできる「健康講座」を行いました。また、今年はおづみーずの「らいすん」と「あぶいーる」に中央図書館長を務めていただきました。



フェスタでは初めての開催となった市内図書館長による「紙芝居」は、親子がポン菓子を食べながら聞き入っていました。今年から中学生と一般とに分けて開催した「ピブリオバトル」は、おすすめ本を持ち寄った発表者たちが、本の魅力を紹介しました。



11日は安曇野市穂高出身の絵本作家まるやまあやこさんによる「講演会」を開催。参加者は「やさしい声の読み聞かせがとっても素敵でした」「絵本を描くまでの話を聞くことができ良かった」と話していました。保健医療部とのタイ



アップで初めて行った「生活習慣病を知ろう! おもしろ健康測定」には2日間で250人を超える方に測定をしていただき、幅広い年齢層の方に健康について関心を持っていただく機会となりました。

また2日間を通じ、ワークショップとして、常念岳のイラストをモチーフにした「カードケースづくり」や子どもに大人気だった奇妙な動きが可愛い「ピコピコカプセルづくり」、おはなしボランティアの皆さんによる「おはなし会」、毎年人気の「図書リサイクルコーナー」なども行い、2日間、多くの方で賑わいました。



私と図書館

(60代 女性)

今から何十年も昔、本好きな友との出逢いによって私の図書館通いはじまりました。子供の手を引いて通った図書館は、小学校の図書館の片隅にありました。母親文庫の中から手にした一冊は、いつも心踊るものでした。

いろんなジャンルの本を読みましたが、今は葉室麟さんの歴史小説に凝っています。主人公の日本人の矜持を貫く生き方は、明日への生きるヒントにもなります。様々な本を読む事によって知った世界観は、私の人生をとてても豊かなものにしてくれました。図書館には、まだまだ読みたい本が沢山待っています。

これからも一冊一冊を、心の友として、読み紡いでいきたいと思いたいと思います。



9月貸出ランキング

一般書

- 1 真贋/今野 敏
- 〃 火花/又吉直樹
- 〃 松本城、起つ/六冬和生
- 4 海の見える理髪店/荻原 浩
- 〃 人生がときめく片付けの魔法〔2〕/近藤麻里恵
- 〃 マル暴総監/今野 敏
- 7 虚ろな十字架/東野圭吾
- 〃 禁断の魔術/東野圭吾
- 9 怒り 上/吉田修一
- 〃 去就/今野 敏
- 〃 危険なビーナス/東野圭吾
- 〃 津軽双花/葉室 麟
- 〃 岳 3/石塚真一
- 〃 岳 4/石塚真一
- 〃 岳 8/石塚真一 他多数



児童書

- 1 おつきさまこんばんは/林 明子
- 2 しろくまちゃんのホットケーキ/わかやまけん
- 〃 14ひきのかぼちゃ/いわむらかずお
- 〃 だるまさんの/かがくいひろし
- 5 かいけつゾロリのおいしい金メダル/原ゆたか
- 〃 きんぎょが にげた/五味太郎
- 7 パーパのプレゼント/アネット=チソン 他多数

AV資料

- 1 みんなのあつみの/安曇野市農業再生協議会
- 2 塔の上のラプンツェル/ネイサン・グレン他監督
- 〃 図書館戦争/佐藤信介監督
- 〃 トムとジェリー 2/小坂知裕
- 〃 よみがえる安曇野/安曇野市
- 〃 ふるさと再生 日本の昔話 17/鈴木卓夫監督

三郷図書館から

本のソムリエ(職員) おすすめ本

一般書

『那覇の市場で古本屋』

ひょっこり始めた〈ウララ〉の日々

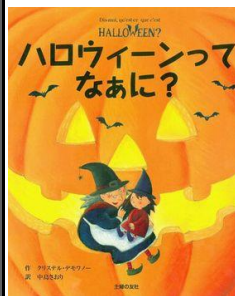


宇田智子/ポーターインク
 新聞書店の書店員だった著者は那覇店への異動後、退職して市場の古本屋を引き継ぎます。路上に書棚を出しても3坪という「日本一狭い古本屋」。「県産本」と呼ばれる沖縄県内で発行された書籍に力を入れ、沖縄の本を届けたい、探している本を手渡したいという気持ちが伝わってきます。買い取りや値付けといった古本屋の仕事の話はもちろんですが、市場ならではのやりとりや沖縄の風習、言葉も楽しめます。表紙の写真の看板にも注目してみてください。

児童書

『ハロウィーンってなあに?』

クリステル・デモワノー作/中島さおり訳
 /主婦の友社



ある秋の日、魔女たちはカボチャをかかえて大忙し。だれもビビと遊んでくれません。ねえ、おばあちゃん「ハロウィーンってなあに?」
 最近、日本でも人気のハロウィーン。どうしてカボチャを飾ったり、おばけの仮装をするのでしょうか。小さな子供でもハロウィーンの風習を理解できる楽しい絵本です。カボチャランタンの作り方や、おばけに変身する方法ものっています。

11月1日は「古典の日」 親しむ機会です!

日本の古典芸術に親しみ、理解を深めるために設けられた記念日。世界最古の長編小説「源氏物語」の存在が確認できる最古の日付である西暦1008年の11月1日にちなんでいます。2012年8月29日に参議院本会議で「古典の日に関する法律」が成立し、記念日となりました。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

この秋、雨が続きました。このような雨のことを「秋霖(しゅうりん)」といいます。

葉室麟の小説に「霖雨(のんこ)」があります。天領の豊後日田で、私塾・咸宜園を主宰する広瀬淡窓と、家業を継いだ弟・久兵衛にお上の執拗な嫌がらせが続く。権力の横暴に耐え、清冽な生き方を貫こうとする広瀬兄弟の話です。

